

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理技術（感染症）		学科名		ヘアビューティ学科		授業方法	講義
担当教員	難波弘行・森下堅一		学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	微生物学の発展の歴史を通し、感染症の法律的な分類や原因となる病原微生物の種類、構造、成分を学習する。病原微生物の感染経路や予防対策、さらに免疫の仕組みや予防接種の効果等の理解を深める。 授業は講義形式で行い、衛生管理（日本理容美容教育センター2025年4月1日発行）の公衆衛生を中心に、單元ごとにまとめたものをパワーポイントを使用して行う。学生には重要点をレポートにまとめて知識を深めてもらう。また、前期・後期末には試験を実施する。							
到達目標	本科目「衛生管理技術（感染症）」は、病原微生物の種類を理解し感染症法における法的な分類、感染経路や予防対策を理解し日常生活に行かせることにある。同時に、理容師・美容師業務への感染対策にも関心を深め、実践的な行動がとれるようにする。							
授業計画・内容								
第 1 週	感染症の総論 オリエンテーション、人と感染症			第 1 6 週	感染症の各論 理容業・美容業と感染症			
第 2 週	疾病の歴史			第 1 7 週	主な感染症 空気・飛沫を介して感染する感染症			
第 3 週	感染症発見の歴史			第 1 8 週	飲食物を介して感染する感染症			
第 4 週	感染症と法律			第 1 9 週	血液等を介して感染する感染症			
第 5 週	感染症の分類方法と感染経路			第 2 0 週	動物・節足動物を介して感染する感染症			
第 6 週	病原微生物の種類、形・大きさ、構造について			第 2 1 週	具体的な対策の例 標準予防策			
第 7 週	微生物の増殖と環境の影響			第 2 2 週	せきのある客への対応			
第 8 週	微生物の病原性と人体の感受性			第 2 3 週	病変の皮膚を持つ客への対応			
第 9 週	常在細菌叢、免疫と予防接種			第 2 4 週	嘔吐をした客への対応			
第 1 0 週	感染症発症の要因			第 2 5 週	客の血液で汚染された器具によってけがをした場合の対応			
第 1 1 週	感染予防の 3 原則			第 2 6 週	感染症に関する基本問題(1)			
第 1 2 週	感染症に関する基本問題			第 2 7 週	感染症に関する基本問題(2)			
第 1 3 週	感染症に関する基本問題の解説			第 2 8 週	感染症に関する基本問題の解説			
第 1 4 週	感染症に関する前期総まとめ（1）			第 2 9 週	感染症に関する後期総まとめ（1）			
第 1 5 週	感染症に関する前期総まとめ（2）			第 3 0 週	感染症に関する後期総まとめ（2）			
評価方法	1）前期 定期試験（90％）を実施し、授業態度・レポートの内容（1 0％）を考慮して成績を評価する。 2）後期							
教科書 教材など	前期 「衛生管理」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行、プロジェクター（パワーポイント使用） ・レポート冊子（1人1冊配布） 後期							
実務経験	難波：薬剤師・大学教員歴43年（保健所・病院勤務、薬学部臨床薬学教授） 森下：美容師歴7年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理（公衆衛生）	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	難波弘行	学年・学期	1 年・前期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・ 公衆衛生及び保健の基礎的な学びを通してその意義と目的を理解する。関連して具体的な生活習慣病やその予防法も学ぶ。理容師・美容師等の日常業務に生かせるようスキルを深める。 ・ 授業は講義形式で行い、衛生管理（日本理容美容教育センター2025年4月1日発行）の公衆衛生を中心に、単元ごとにまとめたものをパワーポイントを使用して行う。学生には重要点をレポートにまとめて知識を深めてもらう。また、前期末には試験を実施する。						
到達目標	・ 公衆衛生と健康との関連性が分かる。 ・ 生活習慣病や感染症の病態と予防対策の重要性が理解できる。 ・ 理容師、美容師等が授業を通して社会の責任ある役割を担う業務であることが理解できる。 ・ 国家試験合格を目標とする。						
授業計画・内容							
第 1 週	1-1-1 公衆衛生の概要 オリエンテーション、公衆衛生の意義と課題						
第 2 週	1-1-2(1)(2) 公衆衛生発展の歴史 欧米と我が国の公衆衛生の歩み						
第 3 週	1-1-2(3) 公衆衛生発展の歴史 消毒法の歴史						
第 4 週	1-1-3(1)(2) 理容師・美容師と公衆衛生						
第 5 週	1-1-4 保健所と理容業・美容業						
第 6 週	1-2-1(1) 保健 母子保健						
第 7 週	1-2-1(2) 保健 成人・高齢者保健（1）平均寿命・死亡率等						
第 8 週	1-2-1(2) 保健 成人・高齢者保健（2）健康増進対策等						
第 9 週	1-2-1(2) 保健 成人・高齢者保健（3）がん・循環器疾患等						
第 1 0 週	1-2-1(3) 保健 精神保健（1）						
第 1 1 週	1-2-1(3) 保健 精神保健（2）						
第 1 2 週	公衆衛生に関する基本問題						
第 1 3 週	公衆衛生に関する基本問題の解説						
第 1 4 週	公衆衛生に関する基本問題の解説						
第 1 5 週	公衆衛生まとめ（練習問題解説）						
評価方法	定期試験(前期)を実施し、授業態度や出席状況、レポートの内容を考慮して成績を評価する。 ※定期試験（9 0 %）・授業態度と出席、レポート（1 0 %）						
教科書 教材など	・ 「衛生管理」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・ プロジェクター（パワーポイント使用） ・ レポート冊子（1 人 1 冊配布）						
実務経験	薬剤師歴43年（保健所・病院勤務薬剤師、松山大学薬学部臨床薬学教授）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	衛生管理（環境衛生）	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	森下 堅一	学年・学期	1 年・後期	時間数	15 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・ 環境衛生の学びを通してその意義と目的を理解する。健康で快適な生活を送るためには環境や自然が人々の健康にどのような影響を及ぼすかを学ぶ。理容師・美容師等の日常業務に生かせるようスキルを深める。 ・ 授業は講義形式で行い、衛生管理（日本理容美容教育センター2025年4月1日発行）の公衆衛生を中心に、単元ごとにまとめたものをパワーポイントを使用して行う。学生には重要点をレポートにまとめて知識を深めてもらう。また、後期末には試験を実施する。						
到達目標	・ 環境衛生と健康との関連性が分かる。 ・ 環境が自然や人々の健康に及ぼす影響を理解する。 ・ 理容師、美容師等が授業を通して社会の責任ある役割を担う業務であることが理解できる。 ・ 国家試験合格を目標とする。						
授業計画・内容							
第 1 週	1節 環境衛生の概要 ・ 環境衛生の目的と意義						
第 2 週	・ 環境衛生活動						
第 3 週	2節 空気環境 ・ 空気と健康						
第 4 週	・ 温熱環境と健康						
第 5 週	3節 衣服・住居の衛生 ・ 衣服の衛生						
第 6 週	・ 住居の衛生						
第 7 週	4節 上・下水道と廃棄物 ・ 上水道 下水道						
第 8 週	・ 廃棄物						
第 9 週	5節 衛生害虫とネズミ ・ 衛生害虫						
第 1 0 週	・ ネズミ						
第 1 1 週	6節 環境保全 ・ 水質汚濁						
第 1 2 週	環境衛生に関する基本問題						
第 1 3 週	環境衛生に関する基本問題の解説						
第 1 4 週	環境衛生に関する基本問題の解説						
第 1 5 週	環境衛生まとめ（練習問題解説）						
評価方法	定期試験(後期)を実施し、授業態度や出席状況、レポートの内容を考慮して成績を評価する。 ※定期試験（9 0％）・授業態度と出席、レポート（1 0％）						
教科書 教材など	・ 「衛生管理」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・ プロジェクター（パワーポイント使用） ・ レポート冊子（1 人 1 冊配布）						
実務経験	美容師歴7年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	保健	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	北村	学年・学期	1年・通年	時間数	90 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	保健（生理解剖学）を対面講義方式にて実施、人体の構造及び機能総合的・系統的理解と国試出題ポイントの把握						
到達目標	テキスト第1編 人体の構造及び機能を1年間で履修						
授業計画・内容							
第1週	頭部、顔部、頸部の体表解剖学		第16週	血液と免疫系			
第2週	〃		第17週	〃			
第3週	骨角器系		第18週	〃			
第4週	〃		第19週	循環器系			
第5週	筋系		第20週	〃			
第6週	〃		第21週	〃			
第7週	神経系		第22週	呼吸器系			
第8週	〃		第23週	〃			
第9週	感覚器系		第24週	消化器系			
第10週	〃		第25週	確認試験			
第11週	確認試験		第26週	確認試験解答			
第12週	確認試験解答		第27週	消化器系4			
第13週	人体の構造及び機能前半国試対策		第28週	〃			
第14週	血液と免疫系		第29週	人体の構造及び機能前半国試対策			
第15週	前期のまとめ		第30週	後期のまとめ			
評価方法	（前期確認試験30％＋前期試験70％）＋（後期確認試験30％＋後期試験70％）120％を合格ライン＋授業態度考慮＋レポート提出						
教科書 教材など	日本理容美容教育センターテキスト						
実務経験	製薬メーカー医薬情報担当者・管理薬剤師、調剤薬局管理薬剤師				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	香粧品化学		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	仁井名 由記		学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・ 香粧品の原料や配合などの成り立ち、性状、使用目的のほか、どのような薬品が香粧品に属するのか、その定義、社会的意義や特性、法的な根拠、製品の安定性について学習していく。 ・ 授業は講義形式で単元ごとに確認テストを行い、理解度を確認しながら進めていく授業である。							
到達目標	美容師として必要な薬品の知識を学ぶことにより、お客様に提供する際の説明ができることや国家試験合格を目標にして、そこにたどり着くための忍耐力を養う。							
授業計画・内容								
第 1 週	1編 1章 香粧品概論 1節 香化粧品の社会的意義と品質特性			第 1 6 週	復習			
第 2 週	2章 1節 香粧品を使用する際に気を付けるべきこと			第 1 7 週	復習			
第 3 週	3節 香粧品の安全性と安定性			第 1 8 週	5天然色素			
第 4 週	3章 香粧品の成り立ち 1節 香粧品の成り立ち			第 1 9 週	7節 香料			
第 5 週	2節 水と親水性溶媒			第 2 0 週	8節 その他の配合成分 1香粧品原料の品質保持に用いられる配合成分			
第 6 週	2節 油性原料			第 2 1 週	2香粧品配合成分があたえる機能			
第 7 週	4節 界面活性剤 1界面活性剤の基本的性質			第 2 2 週	9節 その他機能性配合原料			
第 8 週	2界面活性剤の種類			第 2 3 週	10節 雑貨原料			
第 9 週	5節 高分子化合物 1高分子化合物と特性			第 2 4 週	9節 ネイル、まつ毛エクステンション用材料 1合成樹脂			
第 1 0 週	6節 色材			第 2 5 週	2編 香粧品総論 1章 スキンケア製品			
第 1 1 週	有機合成色素			第 2 6 週	2節 クレンジング用香粧品			
第 1 2 週	復習			第 2 7 週	3節 コンディショニング用香粧品概論			
第 1 3 週	復習			第 2 8 週	復習			
第 1 4 週	復習			第 2 9 週	復習			
第 1 5 週	復習			第 3 0 週	復習			
評価方法	定期試験を実施し、毎授業時間後に行う小テスト、課題、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（50％） 発表（20％） 授業態度や出席（30％）							
教科書 教材など	出版社：日本理容美容教育センター 書名：香化粧品化学 ・講師作成プリント							
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリーブ21 3年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容技術理論	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	松井隆/森下堅一/白神健一	学年・学期	1年・通年	時間数	60時間	必須・選択	必須
授業概要 ・ 授業内容	・美容技術はそれぞれ技術の裏付けとなる根拠があり、その理論や薬剤の取扱い等の説明をし理解させると同時に、技術の方法や注意点なども合わせ習得をしやすいように理解させる。 ・「ヘアケアマイスター」の資格取得に向けて美容技術理論と同時進行で授業を行い、より学生の理解を深める。 ・授業は講義形式でプロジェクターを使用し写真や図、実物などを手に取り、利用しながら授業展開をする。また提出物や小テストにより理解度を確認し、クラス全体の知識を高める。						
到達目標	・1年次は美容実習及び国家試験実技を習得する上で必要とされている理論を教えることを一つの目標としている。また、美容師国家試験筆記課題でもあるため十分な理論の知識を深めことで、美容技術理論の必要性を理解されることを目標にする。 ・10月末に行われる「ヘアケアマイスター、プライマリーコース」の試験に全員合格することを新たな目標の一つとしている。現役の美容師も取得している資格になるため、現場で生きる知識を習得する。						
授業計画・内容							
第1週	【理論】序章：技術と理論 【ヘアケア】1章：毛髪の構造と働き①	第16週	【理論】6章：ヘアカーリング②*ピンカール各部の名称・分類 【ヘアケア】1章：毛髪科学（復習）				
第2週	【理論】1章：用具①*道具、器具、機械の違いについて 【ヘアケア】1章：毛髪の構造と働き②	第17週	【理論】6章：ヘアカーリング③*ステムの方向、ループ・ビニング等 【ヘアケア】2章：カウンセリング（復習）				
第3週	【理論】1章：用具②*コーム・ブラシ・シザーズ・レーザー等 【ヘアケア】1章：タンパク質とは	第18週	【理論】6章：ピンカールの作り方・ウエーブ 【ヘアケア】3章：ヘアケア剤（復習）				
第4週	【理論】2章：シャンプーイング①*シャンプーの目的と成分について 【ヘアケア】1章：毛髪のダメージの原因	第19週	【理論】6章：ローラーカール 【ヘアケア】プライマリーコース試験				
第5週	【理論】2章：シャンプーイング②*注意点やマッサージ効果について 【ヘアケア】2章：毛髪のカウンセリングについて	第20週	【理論】6章：ブロードドライ　ハンドドライヤー 【ヘアケア】プライマリーコース試験（復習）				
第6週	【理論】2章：シャンプーイング③*バック・サイドシャンプーの違い 【ヘアケア】2章：髪質の見極め方	第21週	【理論】6章：アイロンセット・その他 【ヘアケア】6章：色彩学				
第7週	【理論】2章：リンス・コンディショナー①*役割と成分について 【ヘアケア】2章：髪質の見極め方	第22週	【理論】7章：カラーリング　種類とタイプ 【ヘアケア】6章：レベルとトーン				
第8週	【理論】2章：リンス・コンディショナー②*トリートメントとの違い 【ヘアケア】2章：毛髪のダメージレベルについて	第23週	【理論】7章：カラーリング　染毛のメカニズム 【ヘアケア】6章：ヘアカラー剤について①*ヘアカラー剤の分類について				
第9週	【理論】2章：スカルプトリートメント 【ヘアケア】3章：界面活性剤について	第24週	【理論】7章：色の基本 【ヘアケア】ヘアカラー剤について②*脱色剤と脱染剤について				
第10週	【理論】5章：パーマメントウエーブの歴史と理論 【ヘアケア】3章：シャンプー剤の成分と働き	第25週	【理論】7章：パッチテスト　染毛剤と皮膚炎 【ヘアケア】パーマ剤について①*パーマ剤の分類について				
第11週	【理論】5章：パーマメントウエーブ　薬剤の分類 【ヘアケア】3章：トリートメント剤の成分と働き	第26週	【理論】7章：カラーリングの実際 【ヘアケア】パーマ剤について②*還元剤とアルカリ剤の違いについて				
第12週	【理論】5章：パーマ剤に関する注意事項 【ヘアケア】3章：スタイリング剤の成分と働き	第27週	【理論】3章：ヘアデザイン　美容とデザイン 【ヘアケア】パーマの仕組みについて				
第13週	【理論】5章：技術の実際 【ヘアケア】3章：ホームケアアドバイス	第28週	【理論】3章：錯覚の種類と説明 【ヘアケア】ホット系パーマについて①*クリープ、ガラス化について				
第14週	【理論】6章：ヘアセッティング　ヘアセットとは 【ヘアケア】プライマリーコース練習問題①	第29週	【理論】3章：デザインの要素 【ヘアケア】ホット系パーマについて②*ストレートパーマについて				
第15週	【理論】6章：ヘアカーリング①*カールの目的、構成要素について 【ヘアケア】プライマリーコース練習問題②	第30週	【理論】3章：デザインの効果 【ヘアケア】ミドルコース練習問題				
評価方法	・定期試験を実施し、授業内で小テスト・授業時にまとめたノートの提出、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価の目安：定期試験（70％）・小テスト（20％）・授業態度と出席（10％）						
教科書 教材など	日本理容美容教育センター出版「美容技術理論1」。　公益法人理容師美容師試験研修センター発行《美容師実技試験課題「実技の解説及び理・美容衛生読本」》。日本ヘアケアマイスター協会出版「ヘアケアマイスターブック　第4版」。視聴覚教材：プロジェクター（パワーポイント）						
実務経験	松井隆（美容師歴17年）/森下堅一（美容師歴7年）/白神健一（美容師歴6年）				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容実習	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	白神健一/松井隆/森下堅一	学年・学期	1年・通年	時間数	480 時間	必須・選択	必須
授業概要	・美容技術を行う上で必要な基本姿勢や用具類の取り扱いを理解させ、国家試験課題の技術条件に沿って練習を行う。また、「シャンプー」など、実践的な技術も習得する。						
授業内容	・授業は主に実技演習で、授業により講義で各技術ごとに教科書、パワーポイント、動画を使用して説明をする。実技では、デモンストレーションをすることで実際の動きを理解させる。美容師国家試験課題で課題作成時間が決まっているものは、実技の小テストや定期テストを実施し、目標を達成できるようにさせる。						
到達目標	・国家試験課題である「ワインディング」「オールウェーブセッティング」の技術の条件を理解し、決められた課題作成時間内にできるようにする。また、実技試験における衛生上の取り扱いについても理解することで美容師国家試験（実技）の合格を目指す。 ・サロンワークに必要な基本的なテクニックや知識を「カット」「セットアップ」「シャンプー」などの実習を通じて身に付ける。						
授業計画・内容							
第 1 週	・美容用具の理解と基本姿勢の習得。 ・ワインディング（ブロッキング）		第 1 6 週	・ワインディング(全体構成) ・シャンプー(バックシャンプー・トリートメント確認テスト) ・オールウェーブウィッグ作り(レザーの使い方・カット)			
第 2 週	・ワインディング（ブロッキングを正確に取る） ・シャンプー(毛髪理論)		第 1 7 週	・ワインディング(全体構成) ・シャンプー(ヘッドスパ) ・オールウェーブウィッグ作り(パーマあて)			
第 3 週	・ワインディング（上巻き） ・シャンプー(バックシャンプー・相モデル)		第 1 8 週	・ワインディング(全体構成) ・シャンプー(ヘッドスパ) ・オールウェーブ(フィンガーウェーブ)			
第 4 週	・ワインディング(上巻き正確に巻く・下巻き) ・シャンプー(バックシャンプー・相モデル)		第 1 9 週	・ワインディング(全体構成) ・シャンプー(ヘッドスパ) ・オールウェーブ(フィンガーウェーブ構成を理解させる)			
第 5 週	・ワイディング（下巻きを正確に巻く・センター） ・シャンプー(バックシャンプー・相モデル)		第 2 0 週	・ワインディング(全体構成) ・シャンプー(ヘッドスパ) ・オールウェーブ(3線目スカルプチュアカール)			
第 6 週	・ワインディング(センターの構成を理解させる) ・シャンプー(カウンセリング・相モデル)		第 2 1 週	・ワインディング(タイムアップ) ・シャンプー(ヘッドスパ理論) ・オールウェーブ(スカルプチュアカール構成を理解させる)			
第 7 週	・ワインディング(センターのタイムアップ) ・シャンプー(カウンセリング・相モデル)		第 2 2 週	・ワインディング(タイムアップ) ・シャンプー(ヘッドスパ理論テスト) ・オールウェーブ(メイポールカール)			
第 8 週	・ワインディング(フロントの構成を理解させる) ・シャンプー(カウンセリング～バックシャンプー)		第 2 3 週	・ワインディング(タイムアップ) ・シャンプー(ヘッドスパ確認テスト) ・オールウェーブ(メイポールカール構成を理解させる)			
第 9 週	・ワインディング(フロントを正確に巻く) ・シャンプー(カウンセリング～バックシャンプー)		第 2 4 週	・ワインディング(タイムアップ) ・オールウェーブ(クロッキノールカール)			
第 1 0 週	・ワインディング(右バックサイド・右サイド) ・シャンプー(カウンセリング～シャンプー確認テスト)		第 2 5 週	・ワインディング(タイムアップ) ・シャンプー(総合確認) ・オールウェーブ(クロッキノールカール構成を理解させる)			
第 1 1 週	・ワインディング(右バックサイド・右サイドを正確に巻く) ・シャンプー(毛髪理論の確認テスト)		第 2 6 週	・ワインディング(タイムアップ) ・シャンプー(総合確認) ・オールウェーブ(リフトカール)			
第 1 2 週	・ワインディング(左バックサイド・左サイド) ・シャンプー(バックシャンプー・トリートメント)		第 2 7 週	・ワインディング(タイムアップ) ・シャンプー(総合確認) ・オールウェーブ(リフトカール構成を理解させる)			
第 1 3 週	・ワインディング(左バックサイド・左サイドを正確に巻く) ・シャンプー(バックシャンプー・トリートメント)		第 2 8 週	・ワインディング(タイムアップ) ・オールウェーブ(馬蹄形)			
第 1 4 週	・ワインディング(全体の構成理解・タイムアップ) ・シャンプー(バックシャンプー・トリートメント)		第 2 9 週	・ワインディング(タイムアップ) ・シャンプー(総合確認) ・オールウェーブ(馬蹄形構成を理解させる)			
第 1 5 週	・ワインディング（タイムアップ）＊前期試験 ・シャンプー(トリートメント理論)		第 3 0 週	・ワインディング ・オールウェーブ ＊後期試験			
評価方法	・授業内で定期試験を実施し、実技・衛生チェックの見極め、授業態度や出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：定期試験（８０％）・実技・衛生チェックの見極め（１０％）・授業態度や出席（１０％）						
教科書 教材など	・「美容技術理論1・2」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・「美容実習」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行 ・「美容師実技試験課題（技術の解説）」 公益社団法人 日本理容美容教育センター発行						
実務経験	白神健一(美容師歴6年)/松井隆(美容師歴17年)/森下堅一(美容師歴7年)				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	ビジネスマナー		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	小林葉子		学年・学期	1年・前期	時間数	30 時間	必須・選択	必須
授業概要・ 授業内容	接遇マナーを基本とし、コミュニケーション能力・言葉遣い・所作などを学ぶ。 少しでも分かりやすく興味が持てるように、雑談やゲームなども折り込みながらの授業形態。 楽しく学ぶ中で大切なポイントが理解でき、同時に仲間との協力（助け合い）ができるように進める。 伝えるだけでなく、生徒自身が考える授業。（練習問題・ロールプレイング） 前回授業の簡単な振り返り 接客用語と発声練習のルーティーン							
到達目標	AI時代に移行期と言われる中、人と人のつながりの大切さを理解し、人間力向上の基礎を理解する。 あらゆる事柄において考え方の多様性があることを理解し、自己の自信の確立を目指す。 卒業後、すぐに使える接遇をマスターする。 ※16週・17週でインターンシップ後のお礼状書き方							
授業計画・内容								
第1週	オリエンテーション 教材配布 ・ 授業ルールの説明 ・ 教務室への入退室など							
第2週	社会人としての心構え 理想の美容師とは？ （身だしなみ ・ 笑顔の大切さなど）							
第3週	笑顔練習 ・ 歩き方 ・ お辞儀 （ロールプレイ） ・ お茶の出し方 ・ パーソナルスペース							
第4週	アルバイト言葉 敬語の基本 （例文 ・ 練習問題 ・ ロールプレイ）							
第5週	敬語の基本 クッション言葉 （例文 ・ 練習問題 ・ ロールプレイ）							
第6週	敬語の基本 お会計時 電話応対 （例文 ・ 練習問題 ・ ロールプレイ）							
第7週	敬語の基本 美容院で使いそうな文言 （例文 ・ 練習問題 ・ ロールプレイ）							
第8週	敬語の基本 接遇 ・ 接客でよく使う敬語 （例文 ・ 練習問題 ・ ロールプレイ）							
第9週	指示の受け方 ・ 報告 ・ 注意 ・ 職場の人間関係 ・ 店内でのいろいろ（例文 ・ ロールプレイ）							
第10週	お客様とのコミュニケーション（会話 ・ 具体例 ・ ロールプレイング）							
第11週	調整 （授業の進み具合による）							
第12週	お迎え～受付～カウンセリング～案内～施術～サービス～お会計～見送り 流れ確認（ロールプレイ）							
第13週	お迎え～受付～カウンセリング～案内～施術～サービス～お会計～見送り 流れ確認（ロールプレイ）							
第14週	インターンシップについて ・ インターンシップアポイントメント依頼の電話							
第15週	インターンシップについて ・ インターンシップアポイントメント依頼の電話							
評価方法	①出席点 10％ ②授業態度 15％ ③小テスト点 15 ④試験点 60点							
教科書 教材など	教科書 ウィネット【美容師のための接客・接遇マナー】 使用 講師作成プリント併用							
実務経験	初任研、企業研修アシスタント、離職者訓練講座、司会進行など					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	ヘアカラーコーディネート		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	講義
担当教員	安井けい子、森香絵		学年・学期	1 年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要・ 授業内容	主に色彩検定 3 級程度の理論を学び、理論を習得する実践的な実習（個人・グループワーク）を行い、五感や感性を磨き、表現力を高める授業である。 色彩理論の基礎を学び、理解を深めるための実習を通じて色彩感覚を身に付け、専門分野に活用できるよう、個人実習に加えグループワークを行う。							
到達目標	社会人として、また主に接客業に従事する人間として、基本的なあいさつ、人間関係構築力やコミュニケーション力を磨き高める。 色彩理論を表現する実習を通じて、色彩感覚に加え五感や感性を磨き、自己表現力を高め、自己理解や他者理解を深めることを目標としている。							
授業計画・内容								
第 1 週	身の回りにある色彩について、ファッションと色彩			第 1 6 週	配色理論①（色相配色）とカード実習			
第 2 週	グループワーク「機能的・情緒的色彩の役割り」			第 1 7 週	配色理論②（トーン配色）とカード実習			
第 3 週	色彩理論 「色の分類と三属性」			第 1 8 週	前回復習と小テスト・グループワーク①			
第 4 週	前回復習・小テスト・配色理論と実習			第 1 9 週	色彩とファッション、ファッション配色実習			
第 5 週	色彩理論 「有彩色の分類」と実習			第 2 0 週	色彩とインテリア、小テスト、インテリア実習			
第 6 週	色彩理論 「光と色、色はどうして見えるのか」			第 2 1 週	サロンのインテリア画作成実習と発表			
第 7 週	色彩実習 「有彩色の分類と絵の具配色実習」			第 2 2 週	ファッションとインテリア復習と小テスト			
第 8 週	色彩理論 「色と照明」、配色実習			第 2 3 週	色と嗅覚 「アロマセラピー理論と実習」			
第 9 週	総復習と小テスト・季節感と色の実習			第 2 4 週	色彩実習 「配色とスクラッチアート実習」			
第 1 0 週	色彩理論 「P C C S 色相環とは」、カード実習			第 2 5 週	混色復習と小テスト、絵の具混色実習			
第 1 1 週	色彩理論 「P C C S トーンとは」、カード実習			第 2 6 週	季節感と色彩 「クリスマスカード作成」			
第 1 2 週	P C C S 総復習と小テスト、配色実習			第 2 7 週	色彩心理についてグループワークと発表			
第 1 3 週	色彩理論 「混色理論と実習」			第 2 8 週	混色と配色実習「パステルアート作成」			
第 1 4 週	配色イメージと季節感、うちわ作成実習			第 2 9 週	後期試験対策①、配色実習			
第 1 5 週	前期試験対策、配色カード実習			第 3 0 週	後期試験対策②			
評価方法	試験約60%、出席率・授業態度約20%、提出物約20% *特に提出物、授業への取り組み姿勢、他者との協調性等を重視し評価する。							
教科書 教材など	AFT検定 3 級テキスト、カラーカード							
実務経験	カラスクール主宰、色彩・パーソナルカラー講師27年					実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	美容総合研究	学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	演習
担当教員	仁井名 由記	学年・学期	1年・通年	時間数	30 時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	・毛髪の基礎知識を学ぶことで毛髪診断の必要性を理解させ、髪質に合ったヘアケア剤、薬剤の選定方法に役立てる。 ・授業方法は講義形式を中心に授業によっては実験を交えて毛髪の理解を高めるために毛髪診断を行い、頭皮の観察、毛髪の診断を行う。						
到達目標	美容師に必要な毛髪を取り扱っていく上での知識を習得し、就職してからお客様の頭皮から毛髪についての相談に乗れるよう実践に役立てる。						
授業計画・内容							
第 1 週	物質の構成	第 1 6 週	ブリーチと毛髪損傷				
第 2 週	溶解とコロイド	第 1 7 週	ヘアダイと毛髪損傷				
第 3 週	飽和溶液と不飽和溶液	第 1 8 週	ヘアダイが染まって褪色しにくいわけ				
第 4 週	イオンと水素イオン指数	第 1 9 週	アルカリ分をほとんど含まないヘアダイ				
第 5 週	酸と塩基の定義と強弱	第 2 0 週	ヘアダイかぶれはアレルギー				
第 6 週	物質の変化と化学反応	第 2 1 週	ヘアマニキュアは酸性染料				
第 7 週	酸化・還元反応	第 2 2 週	その他染毛料のいろいろ				
第 8 週	タンパク質	第 2 3 週	毛髪とパーマ				
第 9 週	ケラチン	第 2 4 週	パーマの原理				
第 1 0 週	毛髪基礎知識①	第 2 5 週	パーマ1剤は還元剤、2剤は酸化剤				
第 1 1 週	ヘアサイクルとは？	第 2 6 週	パーマと毛髪損傷				
第 1 2 週	ケラチンは丈夫なタンパク質	第 2 7 週	ロッドとウェーブ				
第 1 3 週	毛髪はやや酸性が傷みにくい	第 2 8 週	パーマ2剤では中和しない				
第 1 4 週	毛髪とヘアカラー	第 2 9 週	毛髪診断 実習				
第 1 5 週	ブリーチの仕組み	第 3 0 週	毛髪診断 実習				
評価方法	定期試験は実施せずに、課題、出席状況、授業態度を考慮して成績を評価する。 評価目安：発表（20％）・授業態度や出席（30％）・定期テスト（50％）						
教科書 教材など	出版社：株式会社ビービーコム 出版社：公益社団法人日本理容美容教育センター 書名：毛髪科学を知る及び毛髪のひみつ 書名：香粧品化学						
実務経験	株式会社 毛髪クリニックリーブ21 3年				実務経験のある教員による 授業科目		✓

2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	サロンワークⅡ		学科名	ヘアビューティ学科			授業方法	実技
担当教員	(前期) 清水江里奈 (後期) 白神 健一／松井 隆／森下 堅一		学年・学期	1 年・通年	時間数	60 時間	必須・選択	必須選択
授業概要 ・ 授業内容	(前期) マツエクに関する基本的な知識や技術を学ぶ授業である。授業ではウィッグでの実技を中心に行い、講義・ウルフワークを行うことで知識や関心を高める。まつエクの基本装着から基本のデザインまでのテクニックを身に付ける。 (後期)：美容師に必要な指先を動かす練習として主に基本的な三つ編みから応用までを行い、またアップ時に必要とされるピンニングやブラシの使い方を教える。授業は実技演習形式で行い、指先の動きがみえるようにデモンストレーションゆよくり分かりやすく繰り返して教え、できない学生には再度デモンストレーションを個別に行い、できる楽しさを教える。							
到達目標	(前期) アイリストは美容師免許が必要な職業な為、資格を生かした仕事への関心や意識を高める事を目標とする。 (後期)：美容師の仕事は基本的に指先を使うことが大切であり、シャンプー、ブロー、カット、アップ等の技術も基本は同じであり、サロンワークⅡの授業を通して不器用でも練習する大切さを身に付けさせる。							
授業計画・内容								
第 1 週	オリエンテーション、まつ毛エクステとは何か、被害 やトラブル紹介			第 1 6 週	ウィッグで三つ編みの手順			
第 2 週	地まつ毛の一般理論（毛周期）、地まつ毛診断【グ ループワーク】			第 1 7 週	ウィッグで三つ編みを細かく作る			
第 3 週	地まつ毛の一般理論（毛髪化学）、カウンセリング			第 1 8 週	ウィックでツイストの手順から応用			
第 4 週	マツエク装着後の注意点（アフターケア方法）、エク ステに触れる			第 1 9 週	フィッシュボーンの手順から応用			
第 5 週	道具の取り扱い①（ツイザー）、ツイザーの持ち方・ 人工毛の掴み方・かき分けの仕方			第 2 0 週	四つ網みの手順から細かく作る			
第 6 週	道具の取り扱い②（人工毛・グルー・グループレ ート）、グルーの適量の取り方・エクステの装着の仕方			第 2 1 週	編み込み（三つ編み・裏網み・ツイスト）			
第 7 週	道具の取り扱い③（テープ）、テープワークの仕方・ J,Cカールの装着			第 2 2 週	三つ編みを利用してハーフアップ			
第 8 週	道具の取り扱い④（クレンジング・リムーバー）、リ ムーブの仕方			第 2 3 週	三つ編みを利用してのアップ ピンの止め方とブラシの使い方			
第 9 週	接触皮膚炎について、エクステ装着の一連の流れ			第 2 4 週	V字編み・丸四つ網の手順			
第 1 0 週	デザイン作成①（キューティーライン）			第 2 5 週	編み込みを取入れたアレンジヘア			
第 1 1 週	デザイン作成②（セクシーライン）			第 2 6 週	アレンジスタイル応用① ルーズ感を出す・アイロン使用			
第 1 2 週	デザイン作成の復習			第 2 7 週	アレンジスタイル応用② ルーズ感を出す・アイロン使用			
第 1 3 週	目元のマッサージ（工程・ツボの位置・効果）			第 2 8 週	アレンジスタイル応用③ ルーズ感を出す・アイロン使用			
第 1 4 週	まとめ、デザイン復習・注意点			第 2 9 週	V字編み・丸四つ網の復習			
第 1 5 週	まとめ、実技試験			第 3 0 週	エクステーションの付け方 V字編み・丸四つ網を利用する			
評価方法	(前期) 定期試験を行う。実技試験（授業内）・筆記試験・プリント提出・授業態度・出席状況を考慮して成績を評価する。● 評価目安：実技・筆記試験（５０％）、提出物（２５％）、授業態度・出席（２５％） (後期)：学期末試験を実施せずにj授業中の取り組む姿勢や技術チェック、成長度、出席状況を考慮して成績を評価する。 ※評価目安：授業中の意欲、実技チェック（５０％）・成長度（４０％）・出席状況（１０％）							
教科書 教材など	(前期) 日本理美容教育センター まつ毛エクステンション (後期)：出版社：株式会社アイメディア 書名：パーティアップ（ドレスアップ・ドレスダウンスタイルの作り方）							
実務経験	前期：清水 江里奈 ẽ y ẽ R i n a（アイリーナ）自サロン12年、(株)eyelashgarage認定講師 後期：白神健一(美容師歴6年)/松井隆(美容師歴17年)/森下堅一(美容師歴7年)					実務経験のある教員による 授業科目		✓